

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	シチズンマシナリー株式会社					
代表者名	氏名	中島 圭一	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	北佐久郡御代田町御代田 4 1 0 7 - 6					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	工作機械（CNC旋盤）の開発・製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,598	3,598	3,151	3,632	3,635
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	6,730	6,730	5,891	6,814	6,805
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	20		14	16	15
自動車の台数	台	46		50	51	53
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	130				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

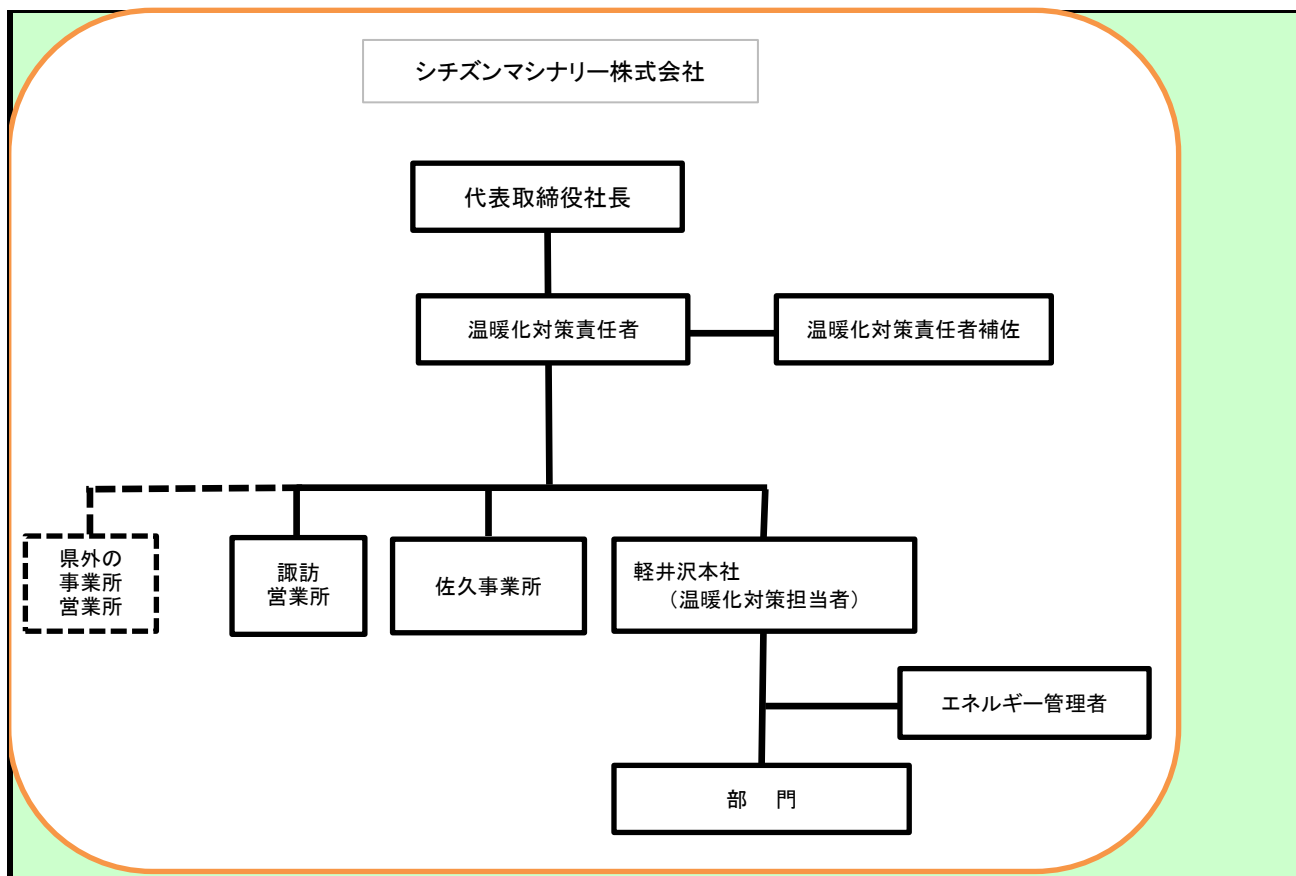
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://cmj.citizen.co.jp/csr/plan.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境マネジメントシステムの運用を通して、二酸化炭素排出量の削減を行う。二酸化炭素排出量の削減は当社の環境目標に設定されており、社内の各部門は環境目標をもとに自部門で行うべき目標を設定して実施している。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境委員会 3回/年

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,730	t-CO <sub>2</sub>	売上高	4,474.40	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	6,730	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	1.50	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
目標年度	目標排出量	6,730	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	1.50	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	目標削減率	0.00	%	目標削減率	0.00	%	
目標設定に関する説明	当社では2013年度(平成25年)から2020年度(平成32年)の8年間でCO2原単位を年平均1%以上改善することを環境目標としてきた。コロナ禍も加わり先行き不透明なことも考慮し、2030年度(令和12年)まで原単位を年平均1%以上改善することを環境目標としている。既に2013年度の原単位に対して2019年度で26%の削減を達成している為、維持改善を図ることとした。						
第一年度	排出量	5,891	t-CO <sub>2</sub>	売上高	3,144.60	単位	千万円
	削減率	12.46	%	原単位	1.87	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2020年度	調整後排出量	5,891	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-24.67	%	
	削減率	12.46	%				
排出量等の増減理由	昨年度から下がり始めた受注が本年度も継続しつつ、またコロナウイルス感染拡大の影響もあり、市況の悪化傾向が続いたため、売り上げが大幅に減少した。排出量は削減しているものの、それ以上に売り上げが減少したため原単位の改善には至らなかった						
第二年度	排出量	6,814	t-CO <sub>2</sub>	売上高	5,234.50	単位	千万円
	削減率	-1.25	%	原単位	1.30	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2021年度	調整後排出量	6,814	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	13.33	%	
	削減率	-1.25	%				
排出量等の増減理由	昨年度はコロナ禍の影響により売り上げの落ち込みが大きく、非常に悪い結果であった。今年度は業種による影響が無く、受注が大幅に増えた。これにより、一昨年の売り上げ以上に急激な回復を遂げることができ、エネルギーの使用量が増えるもトータル良い結果であり、改善が図られた。						
第三年度	排出量	6,805	t-CO <sub>2</sub>	売上高	5,427.20	単位	千万円
	削減率	-1.12	t-CO <sub>2</sub>	原単位	1.25	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	調整後排出量	6,805	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	16.66	%	
	削減率	-1.12	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	昨年度に引き続き、今年度も受注を確保でき売上を維持する事ができた。エネルギーの消費に関しては、老朽した空調機を更新したことによりCO2排出量を抑えることができた。これにより、売上高を原単位に採用している当社は良い結果を得ることができた。						

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	20	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	14	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	30.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	16	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	20.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	15	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	25.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	130	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299	空気調和設備の更新 (本社4期棟精密加工室)	2020	429	2020	453.2
2	エネ起	380752	LEDの導入 (本社1期棟加工エリア)	2020	2.5	2020	5.3
3	エネ起	350699	高効率変圧器の採用 (本社)	2021	0.36	2021	0.366
4	エネ起	380752	LEDの導入 (本社1期棟加工エリア)	2021	2.3	2021	3.2
5	エネ起	350699	高効率変圧器の採用 (本社)	2022	1.22		
6	エネ起	380752	LEDの導入 (本社1期棟加工エリア)	2022	2.5	2022	0.272
7	エネ起	330299	空気調和設備の更新 (本社1期棟加工棟)			2022	282
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	5,691			1	5,848	1	5,798
1,500k1以上 3,000k1未満			1	4,901				
1,500k1未満	2	1,039	2	990	2	966	2	1,007
合計	3	6,730	3	5,891	3	6,814	3	6,805

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>	15	13	14	13
N <sub>2</sub> O	2	1	2	2
HFC	3			
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	20	14	16	15

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	9	12	12	14
合計	9	12	12	14
自動車総数	46	50	51	53
次世代車導入割合	19.6	24	23.5	26.4

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	敷地内アイドリングストップの周知
物流の合理化	海外拠点への部品供給は船舶輸送を利用し計画的に行い、航空便削減に取り組んでいる。国内拠点へのコンテナ輸送は鉄道輸送を推進している。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001		1999
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄